

令和7年度保健師ステップアップ研修【チャレンジ編】

キャリアレベルA3を目指して ～個から地域へ, 住民との協働の視点～

2025年12月3日

埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科

柴田亜希 石崎順子 伊草綾香 菊池宏

目標

■演習

- これまでの保健師活動を振り返り, キャリアラダーに基づき振り返る.
- 自己の課題を把握し, 今後の保健活動の目標を明確にする.

■講義

- 個別支援から地域の健康課題を把握し, 住民との協働による課題解決の方策を検討する必要性を理解する.
- 住民主体の健康な地域づくりの重要性と, 保健師の役割について考えることができる。

内容とスケジュール

時間	項目	内容
10分	グループ形成	自己紹介・アイスブレイク
40分	演 習	キャリアラダー自己チェックの振り返りと共有 今後伸ばしたい能力や中堅保健師に向けた目標の確認
20分	全体共有	各グループで話し合った内容の発表
50分	講 義	個から地域へ ― 住民とともに進める地域づくりと協働

演 習

「キャリアラダーの自己チェックの振り返りと共有」

- 「キャリアラダー自己チェックの振り返りシート」の内容について、グループ内で発表し共有する。
- 発表内容について、良かった点に着目し、具体的に肯定的な言葉で肯定的なフィードバックを行う。
- 今後伸ばしたい能力を明確にし、目標を設定する。

演習の進め方

■ 演習（40分）

グループで以下の2点について発表・共有してください。

- ①キャリアラダー自己チェックの振り返りと共有
- ②今後伸ばしたい能力や中堅保健師に向けた目標の確認

■ 全体共有（20分）

指名されたグループの発表者は、以下の3点について発表してください。

- ①振り返りの内容
- ②今後伸ばしたい能力
- ③中堅期に向けた目標

講 義

個から地域へ ～住民との協働による保健活動～

埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科
柴田亜希

埼玉県自治体保健師のキャリアラダー：A3レベル

所属組織における役割

- ・ 保健活動に係る担当業務全般について自立して行う。
- ・ 役割や立場の違いを理解し、つなぎ役としての組織的な役割を担う。
- ・ 自組織を超えたプロジェクトに参画する。

責任を持つ業務の範囲

- ・ 系の保健事業と施策との関係性を理解し、主担当として担当業務に責任を持つ。

専門技術の到達レベル

- ・ 複雑な事例に対して自立して対応する。
- ・ 健康課題を明確にし、チーム内で共有し、地域の人々と協働して事業計画を提案する。

A3レベルにおいて求められる能力

1 対人支援活動

1-1.個人及び家族への支援

- ・複雑な事例のアセスメントを行い, 支援を実施できる.
- ・支援に必要な資源を適切に導入及び調整できる.

1-2.集団への支援

- ・集団への支援を通して, 地域の健康課題を明確化することができる.

2 地域支援活動

2-1.地域診断・地区活動

- ・地域診断や地区活動で明らかになった課題を事業計画立案に活用できる.

2-2.地域組織活動

- ・住民と共に活動しながら, 住民ニーズに応じた組織化が提案できる.

2-3.ケアシステムの構築

- ・地域の健康課題や地域特性に基づき, 関係機関と協働し, 地域ケアシステムの改善・強化について検討できる.

A3レベルにおいて求められる能力

3 事業化・施策化のための活動

3-1. 事業化・施策化

- ・係内の事業の成果や評価等をまとめ、組織内で共有することができる。
- ・地域の健康課題を明らかにし、評価に基づく事業の見直しや新規事業計画を提案できる。

4 健康危機管理に関する活動

4-1. 健康危機管理の体制整備

- ・地域特性を踏まえ健康危機の低減のための事業を提案できる。

4-2. 健康危機発生時の対応

- ・必要な情報を整理し組織内外の関係者へ共有できる。
- ・変化する状況を分析し、二次的健康被害を予測し、予防活動を計画、実施できる。

A3レベルにおいて求められる能力

5 管理的活動

5-1.PDCAサイクルに基づく事業・施策評価

- ・所属係内で事業評価が適切に実施できるよう後輩保健師を指導できる.
- ・事業計画の立案時に評価指標を適切に設定できる.

5-2.情報管理

- ・所属係内の保健師が規則を遵守して保健活動に係る情報を管理するよう指導できる.

5-3.人事育成

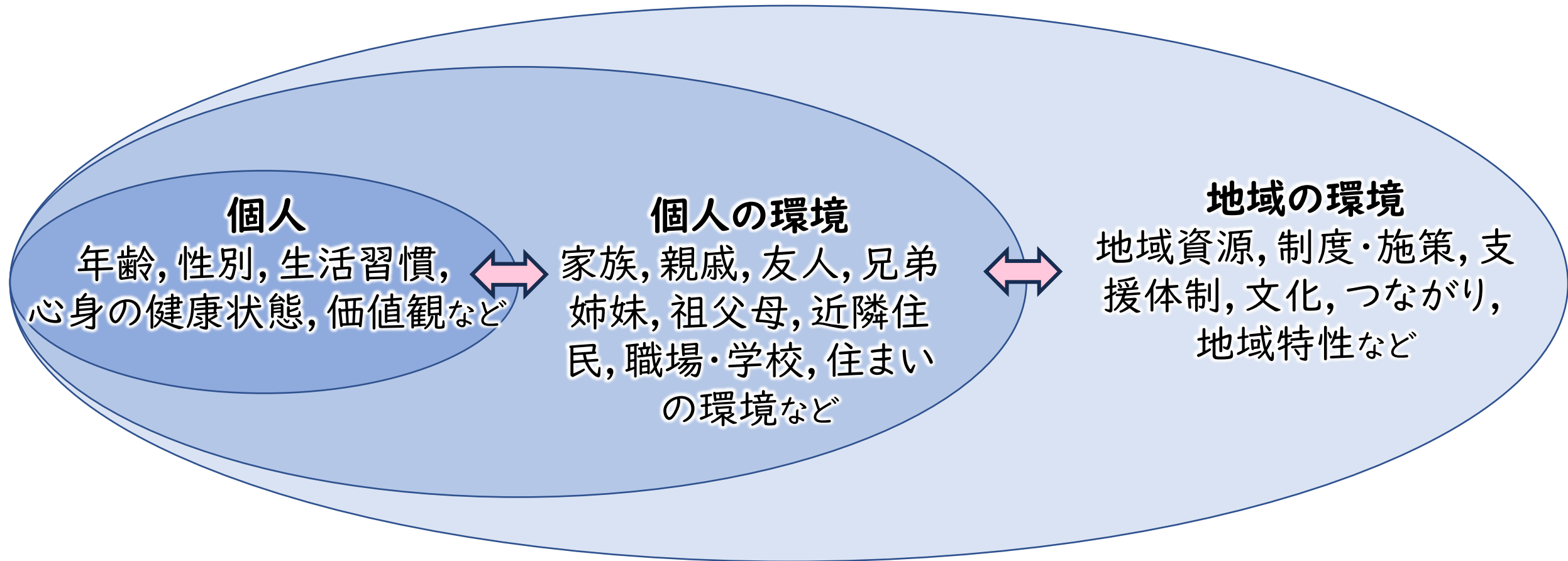
- ・後輩保健師の指導を通して人材育成上の課題を抽出し,見直し案を提示できる.

6 保健師の活動基盤

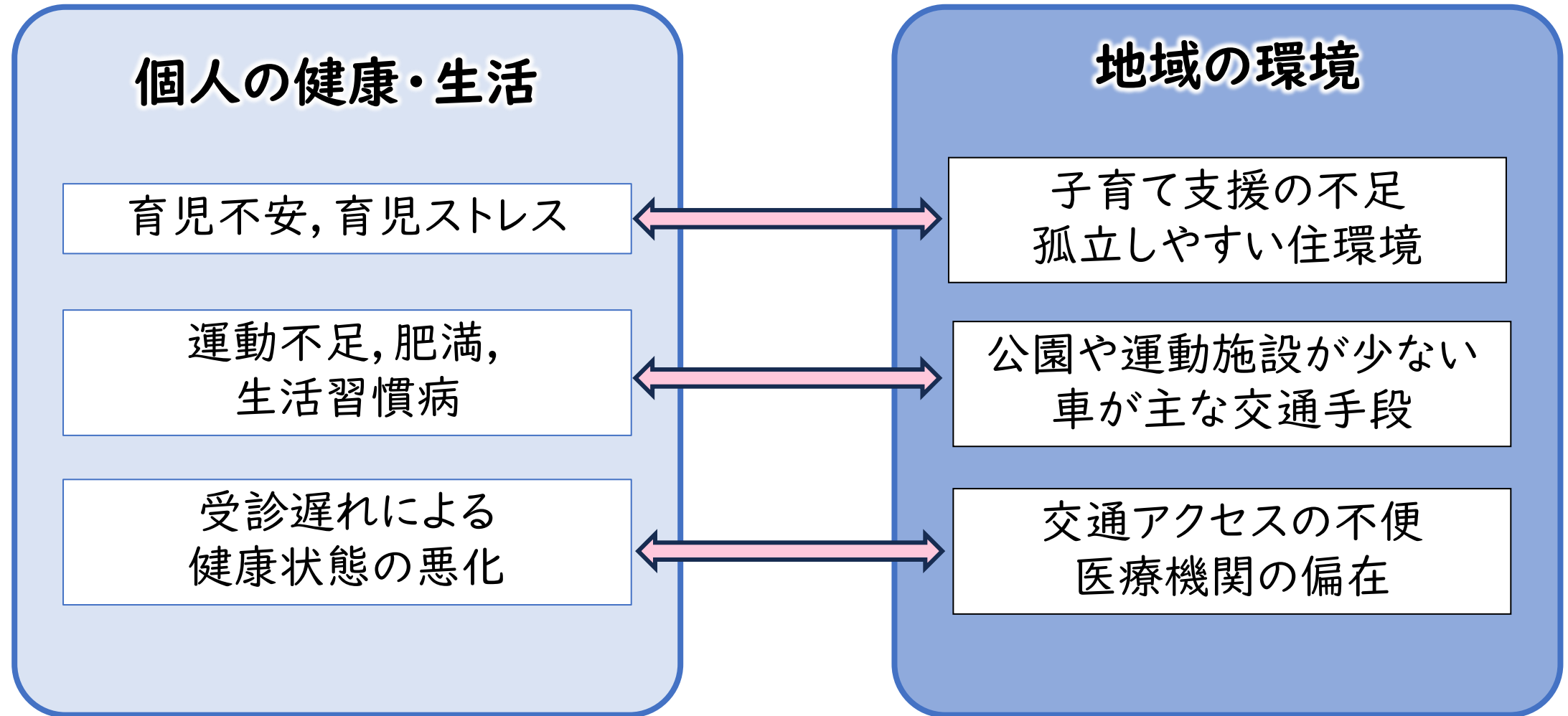
- ・研究的手法を用いた事業評価ができる.
- ・保健師の活動の理念である社会的公正性・公共性について理解し,活動を倫理的に判断できる.

個と地域の関係

「個から地域」⇔「地域から個」 複眼的・多角的な視点で見る



個人の健康・生活と地域環境のつながり



個から地域へ支援の連動

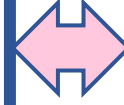
【対人支援活動】

- ・支援が必要な個人および家族の健康課題を明らかにし、支援を実施・評価する。
- ・共通する健康課題を抽出し、集団支援につなげる。
- ・個別支援と集団支援を相互に活かしながら支援を展開する。



【地域支援活動】

- ・日常の保健活動を通して、地域の課題を推定し、地域診断を行う。
- ・地域診断結果を同僚や住民・関係者と共有し、地域の健康課題とその解決方策を協議する。
- ・地域の健康課題や特性を踏まえて、地域ケアシステムの改善を検討する。



【事業化・施策化】

- ・対人支援活動から地域支援活動までの一連の保健活動を、事業化に反映できる。

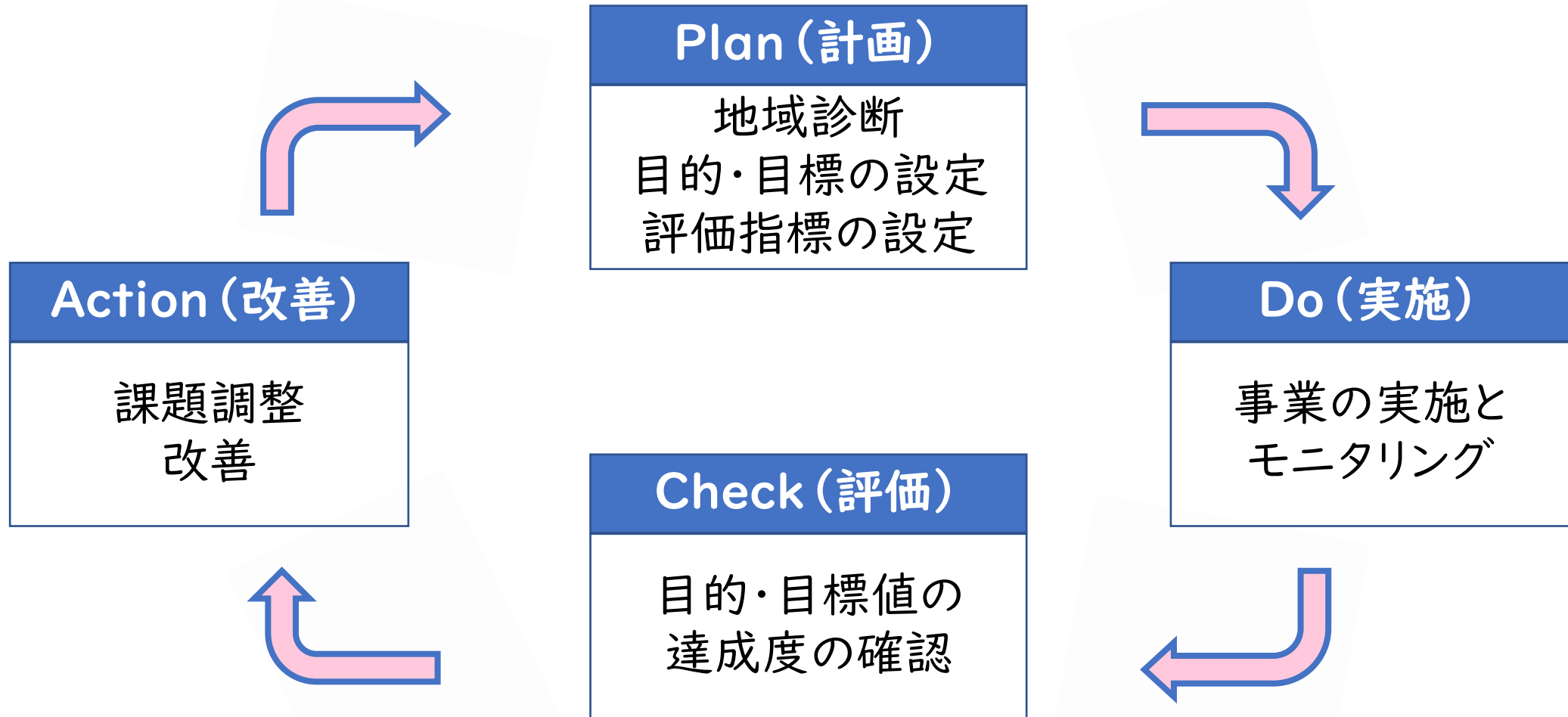
地域における保健師の保健活動に関する指針

- 1 地域診断に基づくPDCAサイクルの実施
- 2 個別課題から地域課題への視点及び活動の展開
- 3 予防的介入の重視
- 4 地区活動に立脚した活動の強化
- 5 地区担当制の推進
- 6 地域特性に応じた健康なまちづくりの推進
- 7 部署横断的な保健活動の連携及び協働
- 8 地域のケアシステムの構築
- 9 各種保健医療福祉計画の策定及び実施
- 10 人材育成

地域診断に基づくPDCAサイクルの実施

保健師は、地区活動、保健サービス等の提供、また、調査研究、統計情報等に基づき、住民の健康状態や生活環境の実態を把握し、健康問題を構成する要素を分析して、地域において取り組むべき健康課題を明らかにすることにより、その健康課題の優先度を判断すること。また、PDCAサイクル(plan-do-check-act cycle)に基づき地域保健関連施策の展開及びその評価を行うこと。

PDCAサイクル

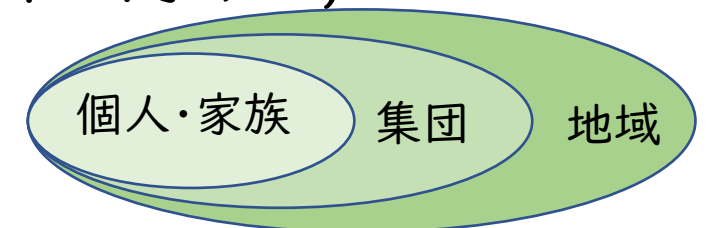


個別課題から地域課題への視点及び活動の展開

保健師は、個々の住民の健康問題の把握にとどまらず、地域特性を踏まえて集団に共通する地域の健康課題や地域保健関連施策を総合的に捉える視点を持って活動すること。また、健康課題の解決に向けて住民や組織同士をつなぎ、自助及び共助など住民の主体的な行動を促進し、そのような住民主体の取組が地域において持続するよう支援すること。



個別事例の背景にある地域に共通する問題に目を向けて、
地域全体の課題として捉える。



個別支援の目的

個別課題の解決と個別支援から見出された地域課題の検討・解決

●個別課題と地域課題の解決

- ・課題の可視化, 支援策の検討, 実施, 評価のPDCAサイクルに基づいた課題解決.
- ・地域課題が見出されネットワーク構築や地域づくり, 資源開発, 政策形成へと発展.

●専門職としての能力・意欲の向上

- ・類似の課題や状況への対応力, 応用力を身につけることができる.
- ・地域支援と事業化・施策化に関わる能力の向上にもつながる.

個別支援から地域課題を検討する必要性

- 個別性の高い複雑・困難事例への対応
- 健康格差など社会的課題の深刻化
- 住民主体・協働型支援への転換
- 地域資源を活かす体制づくり

日頃の活動から地域の健康課題をとらえる

- 「あれっ？」と感じた問題発見から「個」の課題の共通点を束ねる
- 事業実績や保健統計を活用して客観的にみる
- 地域診断により地域全体を見渡す
- Doから始めるPDCAサイクル

ミニ演習

ステークホルダーマップをつくる

～関係者（ステークホルダー）を把握し、協働の視点を身につける～

ステークホルダーとは

●ステークホルダー

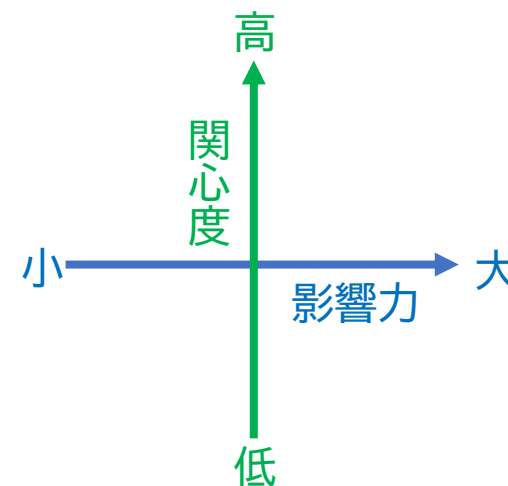
政策やプロジェクトに関わる利害関係者

地域の健康水準を上げることを目的とした活動に協働する者

例) 住民の健康と生活にかかわる保健医療福祉機関と関係職種, 行政の他部署, 職能団体など

●ステークホルダーマップ

ステークホルダーの関係性を図式化したもの



ステークホルダーマップづくりの手順

1. ステークホルダーの特定

プロジェクトや政策に関わるすべての関係者（個人，団体，機関など）を洗い出す

2. ポジション分析

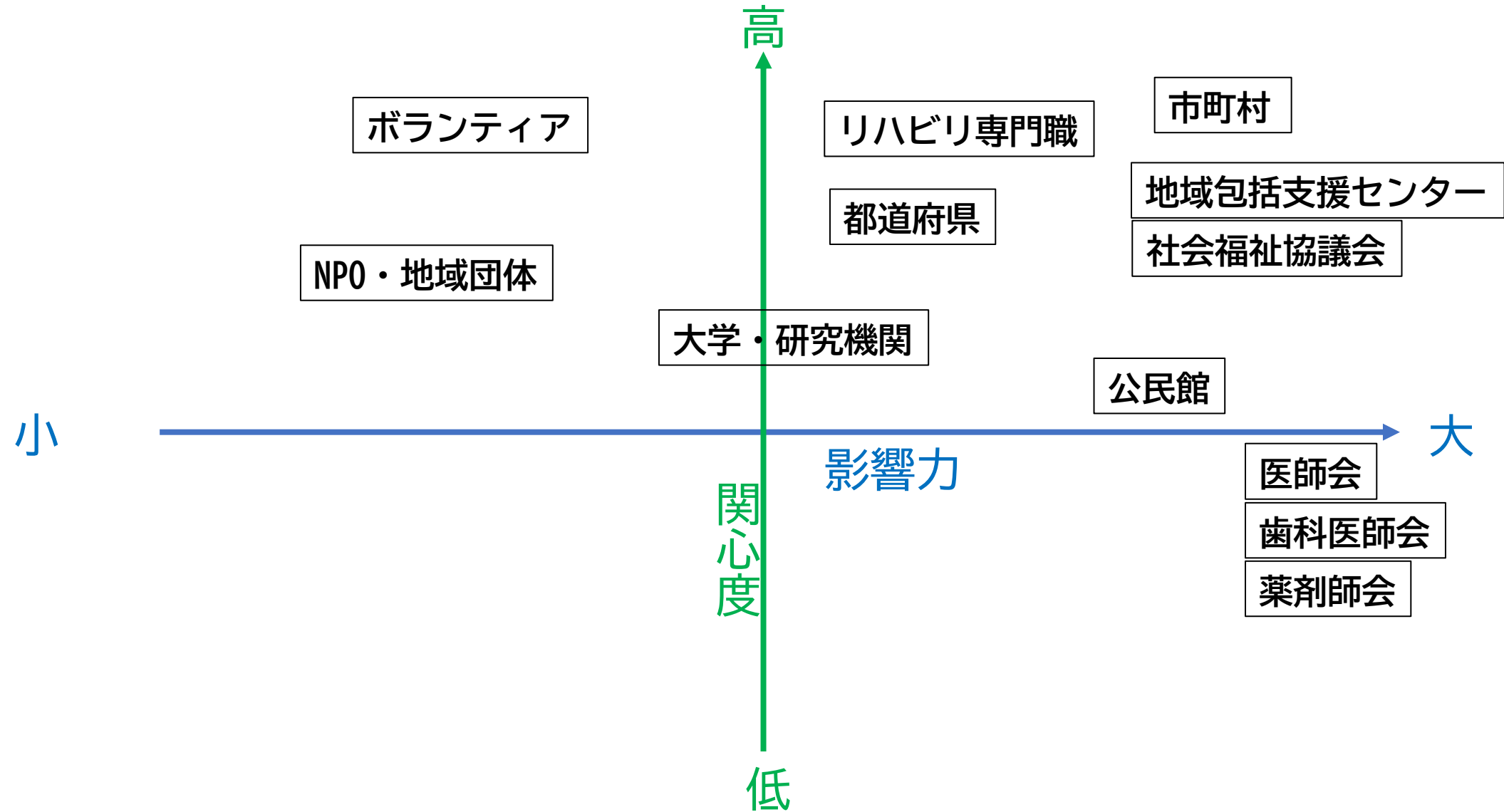
「関心度」「影響力」「立場」について2軸におけるポジションを分析
ステークホルダーが持つ資源（人，物，金）やステークホルダー同士の関係性も分析の対象とする

3. コミュニケーション戦略の策定

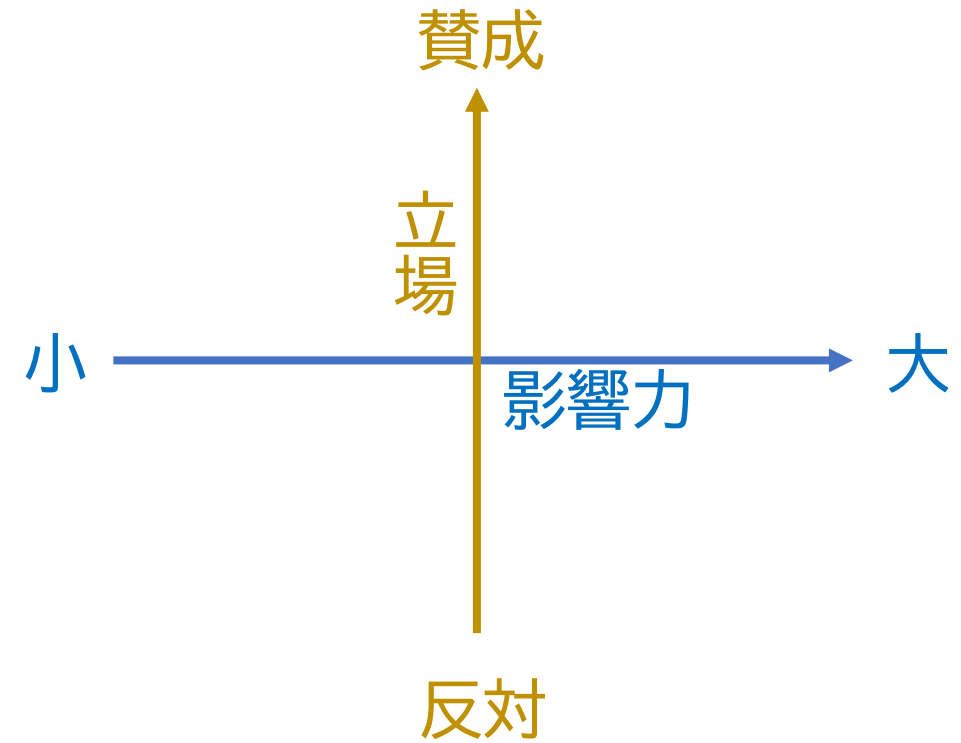
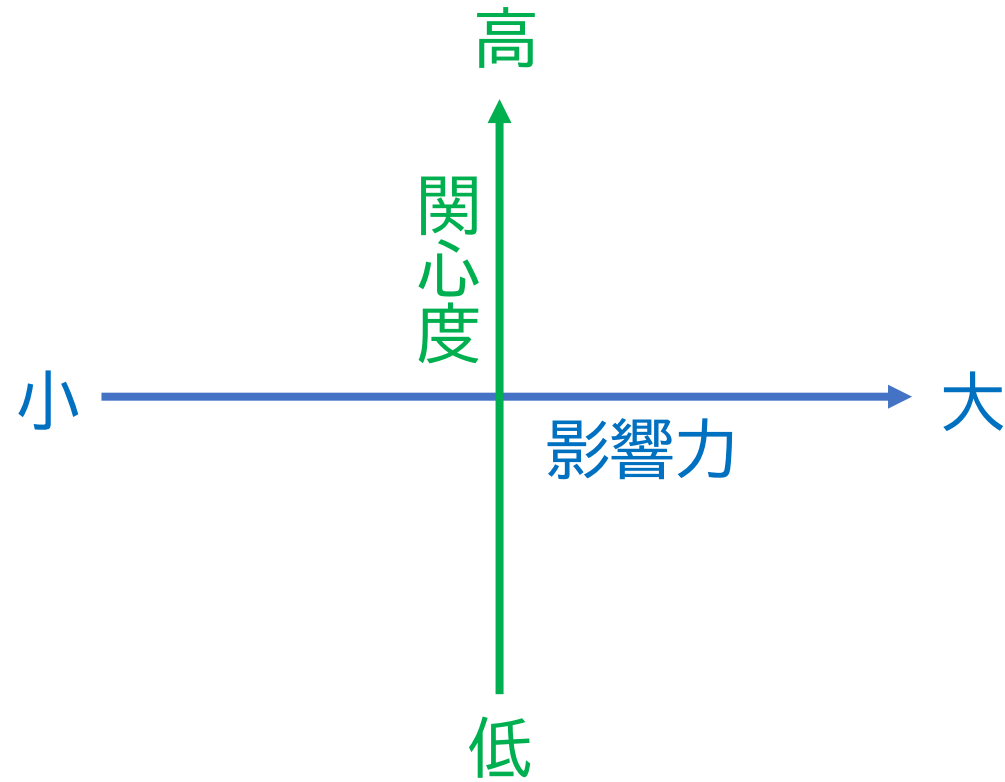
ステークホルダーごとに適切な対応策を検討し，情報共有や交渉を行う

- ・協力者（支持者）→ 積極的に巻き込みプロジェクト推進
- ・中立的な立場の人々 → 情報提供を通じて理解を深める
- ・反対者 → 対話を重ね懸念を解消

(例) 通いの場拡大に向けたステークホルダーマップ



テーマ：事前課題で検討した事業の効果的な実施のために重要なステークホルダーは？



住民はサービスの受益者か？

- ヘルスプロモーション**とは、人びとが自らの健康とその決定要因をコントロールし、改善することができるようにするプロセスである。

(バンコク憲章, 2005)

- 地域共生社会**とは、地域住民や多様な主体が我が事として参画し、縦割りの制度や「支え手」「受け手」という関係を超えて、人與人、人と資源が世代や分野を超えてつながる社会を目指すこと。

(厚生労働省, 2017)



住民や地域が主体となった健康づくりが重要

住民との協働の必要性

- 住民の主体性を高め, 地域全体で健康づくりに取り組む.
- 住民の自助・共助を促し, 地域で助け合う力を高める.
- 生活実態に基づいた支援と, 予防・早期発見ができる体制づくり.
- 地域資源をつなぎ, 人・組織のネットワークを強化する.
- 保健活動の持続性や影響力を高める.

協働のすすめかた

- 地域と住民を理解する
- 信頼関係を築く
- 目的を共有する
- 対等な立場で一緒に取り組む
- 成果を評価し改善につなげる

住民との協働は日常の中にある

- 何を協働すべきかわからない!?

日々の相談や健診, 訪問の中から聞こえる住民の声に耳を傾けて.

- 住民を巻き込む方法がわからない!?

巻き込むのではなく話を聴く, 関心に寄り添う.

- 地域の人に受け入れてもらえるか心配!?

“教えていただく” “一緒に考えさせてほしい”という姿勢.

- 経験がないから自身が持てない!?

最初は話をきくことから, 小さな積み重ねを.

日頃の丁寧な保健師活動が住民との協働につながる

住民との協働に向けた関係づくり

- 日常的なコミュニケーションを大切にする。
- 住民の意見やニーズを尊重する。
- 地域の事業や集まりに出向いて地域を知り、住民との関係を築く。
- 情報やネットワークを活用・共有する。
- 協働の小さな成功体験を積む。
- 言動や対応に責任を持ち、信頼関係を築く。
- 継続的なかわりを意識する。
- キーパーソンを見つける。

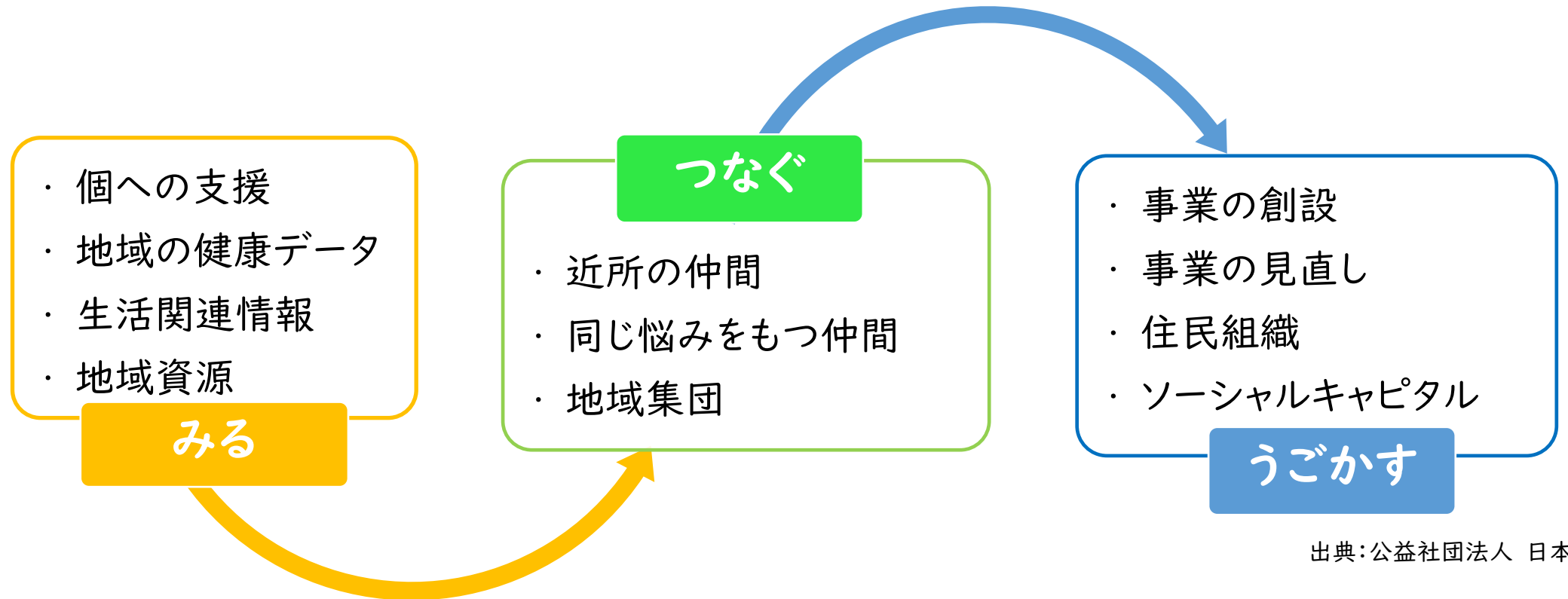
個の気づきを地域の力へ

- 個別支援で明らかになった課題の共通点を把握する.
- 個の課題から地域の課題を見出し, 地域全体の課題解決につなげる.
- 住民との協働を通して, 住民主体の地域づくりへと展開する.

個別支援も協働も信頼が基本. まずは日々の対話からはじめよう.

地域を「みる」「つなぐ」「うごかす」

地域全体を**みて**、どこに働きかけて、どこに**つないで**いけばよいのかを考えて働きかけて、
関わる人々、環境、地域をよりよく変化させていく(**うごかす**)



参考文献

- 厚生労働省. 地域における保健師の保健活動について, 2013. <https://www.iba-hokenshi.jp/kantan/data/doc/14/6whYSdIU80QOReub.pdf>
- 和泉比佐子, 佐伯和子. みんなで活かそう私たち保健師のコアバリューとコアコンピテンシー第3回 「ポピュレーションベースのアセスメントと分析」「健康増進・予防活動の実践」. 保健師ジャーナル; 80(6):534-540. 医学書院, 2024.
- 守田孝恵. PDCAサイクルの展開図でわかる「個」から「地域」へ広げる保健師活動. クオリティケア, 2013.
- 福田吉治. 世界一薄いヘルスポリシー (保健政策学) の教科書, 2025. <http://tcoeh.org/post-1717/>
- 日本看護協会. 保健師活動指針活用ガイド, 2014. <https://www.nurse.or.jp/nursing/home/publication/pdf/guideline/hokenshikatsudo/hajimeni.pdf>
- 日本看護協会. 平成28年度 保健師のキャリア形成推進事業 保健活動到達状況のチェックリスト, 2017. https://www.nurse.or.jp/nursing/hokenshi/kyoiku/pdf/checkrist_vol1.pdf?utm_source=chatgpt.com
- 宮崎美砂子, 北山三津子, 春山早苗, 田村須賀子. 最新公衆衛生看護学総論. 日本看護協会出版, 2020.
- 渡邊多恵子, 関美雪, 望月宗一郎, 他. これからの地域看護学 多様性と包括性を踏まえた看護実践に向けて. 朝倉書店, 2025.
- 伊藤美樹子. 行政保健師のための地域診断. 有信堂, 2025.
- 斎藤美矢子, 守田孝恵. 市町村保健師活動における地域の健康課題発見の実践技術. 山口医学, 2020; 69(1):25-38.